



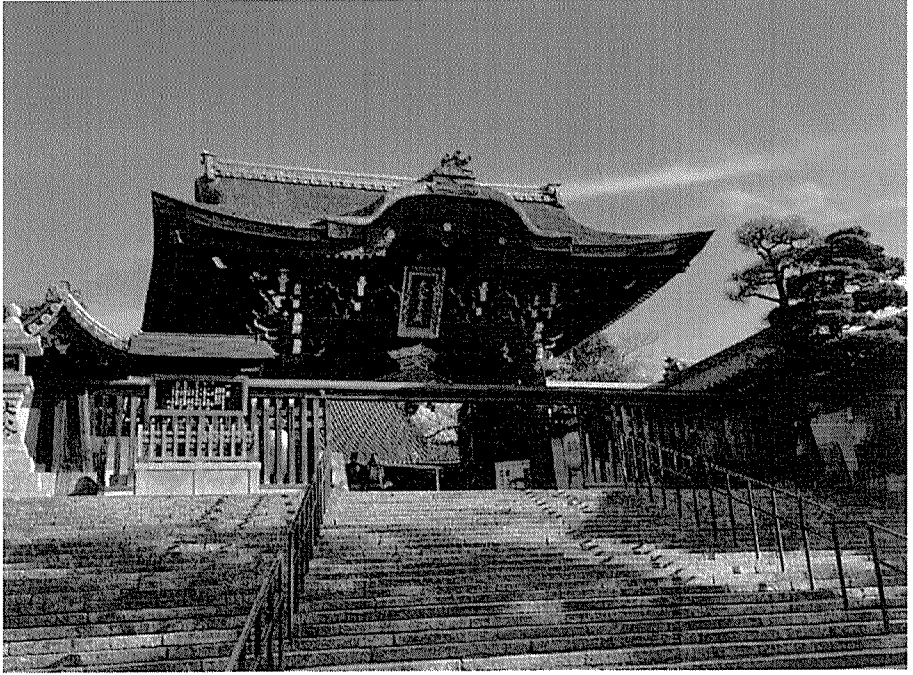
寶蓮寺 だより

ぶっほうそう

第 58 号

秋季彼岸会 永代経法要

2023 年 9 月 20 日 癸



〔写真 … 大谷本願 山門（京都市東山区）〕

住職 ご挨拶

緒方義英

秋分を迎え、朝夕しのぎやすくなつてまいりましたが、皆さまには、お変わりなくお念仏ご相続のこと大慶に存じます。

さて、この度の当山秋季彼岸会・永代経法要は、北豊教区布教大会との併修でお勤めいたします。日程は十月七日（土）から九日（月）までの三日間、いずれも昼席（十三時半〜）のみとなります。お斎（とき）のご用意はございませんので、悪しからずご了承ください。

本布教大会は、七名の僧侶によるリレー法話形式で、七日は二名、八日は三名、九日は二名が担当して、次々と法話を行ってまいります。どうぞ皆さま、お誘いあわせの上お聴聞くださいますようお願い申し上げます。

合掌

一口法話 「信罪福心」



諺に「晴かぬ種は生えぬ」とか「打たぬ鐘は鳴らぬ」とありますが、原因のない結果はない、結果にはすべて原因がある、というのが物事の道理です。仏教では、この原因と結果の関係性を「因果応報（いんがおうほう）」と説きますが、これは文字通り「因に依じて果は報（むく）う」、結果は必ず原因に依報する、という意味です。楽しいことも苦しいことも、それが偶然に起きるといふことはないわけで、それぞれに原因が存在する。結果から原因に目を向け、原因を知ることこそが大切である、と教えているのです。

当然、この「因果応報」は、自分自身の考えや行動にも当てはまり、それを仏教では「自業自得（じごうじとく）」と説いています。あまり好い意味で用いられません。本来は悪いことにはばかり使われる言葉ではなく、善であれ悪であれ、それが必ず報いとなって還ってくる、という教えです。

「善い考え」や「善い行い」は福を

生み、「悪い考え」や「悪い行い」は罪を生む、福をつくるのも罪をつくるのも自分次第、それがこの世の道理、自業自得の因果律なのです。

ですから、多くの人が「善人は幸せになり、悪人は不幸になる」と考えていますし、「真面目な人間には褒美が与えられ、不真面目な人間には罰がある」と信じています。「善人も悪人も平等に救われる」などと聞くと、「そんな不合理な話はない」と腹立たしささえ感じるのです。

このような自業自得を信じてやまない心のことを、仏教では「罪福を信じる心」（信罪福心・しんざいふくしん）と呼んでいます。

「人に迷惑ばかりかけて自分勝手に生きている人が、真面目に生きている人と同じお浄土に生まれるのは納得いかない」と、そう思ったことはないでしょうか。この心がまさしく「信罪福心」なのです。

しかし、浄土へと生まれるための因は、そのすべてが阿弥陀さまによって仕上げられています。すべてが阿弥陀さまのはたらきですから、私のつくる

罪福の多少は問われていないのです。これこそが浄土へ生まれる道理であるのに、そこへ自業自得の道理を持ちだして「善人は浄土に生まれるが、悪人は浄土に生まれない」と考える信罪福心の人は、阿弥陀さまの願いを疑いなく聞くことができない人、ということなのです。

「自業自得」はこの世の道理、しかし浄土へと生まれる道理ではありません。このことをしっかりと心にとめながら、日々お聴聞したいものです。

合掌

※令和五年八月「築城組テレホン法話」より

令和六年

寶蓮寺 御取越 報恩講

一月 六日(土) 昼席(連夜)

七日(日) 昼席(大連夜)

八日(月) 昼席(御正當)

十三時三十分より

講師 北嶋文雄 師(朝倉郡 光蓮寺)
引受 校門徒

ご案内

○本願寺 鎮西別院 永代経法要



日 時 十月 三日(火) ～ 五日(木)

朝席 十時より 昼席 十三時三十分より

場 所 北九州市門司区別院 鎮西別院 本堂
講 師 布教使 紫藤 常昭 師(福岡教区)

○築城組鑽仰会 「秋の集い」

日 時 十月三十一日(火) 十三時三十分より

場 所 築上町水原 長壽寺

講 師 葛野 洋明 師(龍谷大学特任教授)

築城組実践運動研修会 参加のお誘い

☆ 本年度研修テーマ「葬儀について考える」

日 時 十月十三日(金) 十四時半より

場 所 京都ホテル(行橋市宮市九十八)

参加費 無料

締 切 十月七日(土) までに住職へご連絡ください



敬 弔

七月 五日	安武 石井 照子 様	享年八十八
八月 一日	行橋 福元 愛子 様	享年八十
八月 五日	高瀬 荻野 安利 様	享年八十
八月 十三日	下高屋 龜田 英子 様	享年八十五
八月 十七日	上別府 近藤 典夫 様	享年九十四
八月 十七日	道場寺 福富 章之 様	享年九十二
八月二十一日	東築城 廣江 ミツギ 様	享年八十四
九月 十九日	道場寺 泉 一三三 様	享年九十八

謹んで哀悼の誠を表します

永代経懇志 御礼

- 一金 拾萬円 下別府 伊塚スマ子 様
- 一金 拾萬円 箕田 北野豊子 様



皆様のご懇念からなる「永代経懇志」は、ご法華繁盛、寺内の護持発展のために大切に使用させていただきます。

仏事のいろは ～ 家族葬のおはなしⅡ ～

以前の「仏事のいろは」で家族葬を取り上げましたが、今回はその内容を整理し、メリットとデメリットをまとめてみます。向後の参考になされてください。

なお、家族葬の定義は葬儀場によって様々ですが、ここでは、かりに「近親者だけが参列し、周囲には知らせない葬儀」としておきます。また、家族葬のメリットとデメリットについては、費用面をはじめ、手間や時間、肉体的及び精神的な疲労など、人によって負担に感じるところも違ってきます。あくまでも一例だとお考えください。

【メリット（よいと感じられるところ）】

- ・多くの会葬者への気配りや応対の必要がない
- ・会葬御礼（謝辞や御礼品）に気を遣う必要がない
- ・会場を小さくするなどして葬儀費用を軽減できる
- ・会葬者が少ないために焼香などが短時間で終わる

【デメリット（わるいと感じられるところ）】

- ・会葬者の選定に困る（連絡する人と連絡しない人の選別）
- ・会葬者が少なく淋しい（静かと感じる方もいるが…）
- ・一般会葬を希望者される方の趣いに応えられない
- ・事後の弔問対応（後日、自宅に弔問客が訪れる）
- ・香典が期待できない（香典は相互扶助）

※葬式費用は会葬者数とは比例しておらず、家族葬に割高感があるようです。

※葬儀に関する情報は寶蓮寺ホームページに掲載しています。

◇ ご法事に関するご質問について

先日、「遠方でもお葬式や法事を依頼できますか」というご質問をいただきました。北九州市や福岡市へは、年に何度もお参りへ行っていますし、大分市や山口市でお勤めすることもあります。仏縁ですから、ご依頼をいただければ、どちらでも伺います。



◇ 念珠修理します（京都の念珠店へ依頼）

寶蓮寺では、門信徒の皆さんの念珠修理を承っております。切れた念珠の修理や珠を増やしたい方はお寺へご連絡ください。京都の念珠店へ依頼します。修理代金は一律千円（税込・送料込）で、珠の買出しは実費です。京念珠の新規注文もできますので、ご希望の方はお気軽にご相談ください。

～ 表紙の写真 ～

本号の表紙写真は、京都市東山区五条にある本願寺「大谷本願」の山門を撮影したものです。大谷本願は御本山の納骨施設であり、寶蓮寺のご門徒さまには、指定の納骨壇に無料で分骨（遺骨の一部を納骨）していただけます。

大谷本願への納骨を希望される方は、住職までご連絡ください。納骨に必要な書類と専用の費壺をお渡しいたします。

発行 照曜山 寶蓮寺

〒829-0105

築上郡築上町上別府 1072-1

電話 0930-52-0207

090-1192-5324（住職）
090-8395-0845（坊守）